
著作権および保証の通告

本ドキュメントの情報は予告なしに変更されることがあり、ベンダーの側の責任を表明することはありません。また、ベンダーはこのマニュアルに表示される誤りについて責任を負うこともありません。

本ドキュメントの品質、正確さ、特定目的への適合性に関しては、明示的であれ黙示的であれ、何の保証や表示を行うことはありません。いかなる場合でも、メーカーは本マニュアルや製品の欠陥や誤りから生ずる損害に対して、直接損害、間接損害、特別損害、偶発損害であろうとも、一切責任を負わないものとします。

本マニュアルに記載されている製品名は識別の目的のためだけのもので、本ドキュメントに記載されているトレードマークや製品名、またはブランド名はそれぞれの所有者に帰属します。

本ドキュメントには、国際著作権法の下で保護されているマテリアルが含まれています。全ての権利は留保されています。本マニュアルのいかなる部分も、メーカーおよび本マニュアルの著者の書面による事前の許可なしには、コピー、伝送、または転記を行うことができません。

本製品の設定を適切に行わなかった結果、製品が誤動作を行ったり停止することがあっても、当社はいかなる責任も負いません。

AC10 CNR カードユーザーズマニュアル

索引

第 1 章	はじめに	1-1
1-1.	仕様.....	1-1
1-2.	梱包を開ける (パッケージリスト).....	1-4
第 2 章	ハードウェアの取り付け	2-1
2-1.	システムの接続.....	2-1
2-2.	コネクタおよびヘッダ.....	2-2
2-3.	カードの取り付け.....	2-3
2-4.	電話線をモデムに接続する.....	2-4
第 3 章	ドライバのインストール	3-1
3-1.	モデムドライバをインストールする.....	3-1
3-2.	WINDOWS 9X に対する診断.....	3-3
3-3.	5.1 チャンネルのオーディオドライバをインストールする.....	3-4
第 4 章	INTERVIDEO WINRIP™ のソフトウェアアプリケーション	4-1
4-1.	WINRIP のインストール.....	4-1
4-2.	WINRIP の構成.....	4-4
第 5 章	INTERVIDEO WINDVD™ 2000 ソフトウェアアプリケーション	5-1
5-1.	WINDVD™ 2000 ドライバをインストールする.....	5-1
5-2.	リモートコントロールキット(オプション).....	5-2
5-3.	リモートコントローラ(オプション).....	5-3
付録 A.	技術サポートの受け方	



第1章 はじめに

AC10 CNR(通信およびネットワークライザー)は5.1チャンネルホームシアタースピーカー出力、V.90 アナログモデムをサポートしています。さらに、通信およびネットワークでコストパフォーマンスの高い柔軟性のある選択を提供することにより、マザーボードの OEM メーカーには PC 市場において新しい機会が生まれてきています。

CNR カードは PCI スロットを共有して、AMR とそのアプリケーションを識別します。追加された機能と優れたハードウェア設計により、システムメーカーは、将来の技術に対する拡張性だけではなく、いくつかのマザーボード加速オプションを利用できるようにもしています。

1-1. 仕様

モデム

1. チップセット

- SmarLink Si3014

2. 回線接続

- PSTN、2 回線

3. データモデム

- V.90 および K56flex
- V.34 (33,600 bps – 2,400 bps)
- V.32bis (14,400 bps – 4,800 bps)
- V.32 (9,600 bps - 4,800 bps)
- V.22bis (2,400 bps - 1,200 bps)
- V.22 (1,200 bps)
- V.23 (75/1,200-600 bps)
- V.21 (300 bps)
- Bell 212A (1,200 bps)
- Bell 103 (300 bps)

4. ファックスモデム

- Group III、Class 1
- Class 1 ファックスエラー訂正モード
- V.17 (14,400/12,000 bps)
- V.29 (9,600/7,200 bps)
- V.27ter (4,800/2,400 bps)
- V.21 (300 bps)

5. エラー訂正

- V.42、LAP-M および MNP 2-4
- データ圧縮
- V.42bis および MNP 5

6. 留守番電話オプション

- 8KHz PCM および IMA ADPCM
- 並行 DTMF 検出
- 音声 Voice/無音の検出

7. モデム通信モデル

- 非同期

8. スピーカーホンオプション

- 全二重(音響およびラインエコーのキャンセル付き)
- マイク AGC およびミュート機能
- ソフトウェアによる音量コントロール
- 保留時に音楽
- 点滅するフック

9. ビデオホンレディモデム

- V.80 同期アクセスモードインターフェース
- 透過およびフレームサブモード
- 音声コールは初めて ProShare 技術を搭載した Intel Video Phone をサポートします

10. 適応接続のサポート

- V.8 自動モードネゴシエーション
- V.8 PRIME および V.8bis
- 適応率再ネゴシエーション
- 加速や減速を自動的に調整して、変更ライン状態を構成

11. 音色検出

- 発信音、第2発信音
- 折り返しの電話、通話中
- データ/ファックス応答音色
- DTMF

12. PTT および安全

- FCC、CE、CTR21

13. DOS Box Comm. アプリケーションのサポート (TAM オプションで利用可能)

- データ、ファックス、音声を識別

14. モデムの自動ダイヤルおよび自動応答

- はい

15. モデムの回線品質の監視

- レベル監視を受信

16. モデムのプログラム可能な音量コントロール

- はい

17. オペレーティングシステムのサポート

- Windows 95/98/ME
- Windows NT 4.0

- Windows 2000
18. モデムデータインターフェース
- AC'97 準拠 1 次/2 次選択
19. 電話インターフェース
- RJ-11 を介した PSTN 回線
20. 最小のシステム条件
- 233MHz Pentium II プロセッサ
 - 266MHz Celeron プロセッサ
 - 233MHz AMD K6 3D now!
 - 256K L2 キャッシュ
 - AC-Link V.2.1 互換の Core Logic チップセット
 - Windows 95/98 (16 MB RAM を搭載)
 - Windows NT 4.0/2000 (32 MB RAM を搭載)
 - 7 MB の使用可能なディスク容量
 - CNR スロット(x1)

5.1-チャンネルオーディオ

- アナログデバイス AD1885 コーデック
- 5.1 チャンネルのホームシアタースピーカー出力をサポート
- AC'97 2.1-準拠
- Soft DVD が Dolby Digital Decoding を提供
- バスインターフェース: CNR バス
- ステレオヘッドホンアンプ
- 90 dB より大きい S/N 比
- オーディオコンバータ: 16-ビットのステレオ全二重コーデック
- ゲーム互換: 全ての標準 Windows ゲームおよびほとんどの DOS ゲーム(リアルモードの DOS)と互換性を備えています
- 1 Hz の解像度で 7040 Hz から 48 KHz までの全二重可変サンプリングレート
- オーディオ入力/出力: マイク入力、ライン入力、内部ヘッダ上に Aux 入力、内部ヘッダ上に CD 入力、G9 スピーカー出力(x1)。
- モノ MIC 入力(組み込み式の 20 dB プリアンプ付)。
- 電源管理のサポート
- デジタルオーディオミキサーモード
- PHAT ステレオ 3D ステレオ拡張機能
- Windows 95/98/ME、Windows NT 4.0、Windows 2000 オペレーティングシステムのサポート

* 本マニュアルに含まれる仕様と情報は、予告なしに変更されます。

1-2. 梱包を開ける (パッケージリスト)

次のリストをチェックしてください。付属品が破損していたり不足している場合には、お買い上げの販売店に連絡してください。

- (1) AC10 CNR カード
- (1) AC10 インストールおよびユーティリティディスク (CD-タイトル)
- (1) G9 6-チャンネルケーブル
 - 赤いジャック: 前面スピーカーに接続
 - 白いジャック: 背面スピーカーに接続
 - 黒いジャック: 中央スピーカー/サブウーファに接続
- (1) 電話コード
- (1) ユーザーズマニュアル(本書です)
- WinDVD リモートコントローラキット (オプション)

第2章 ハードウェアの取り付け

2-1. システムの接続

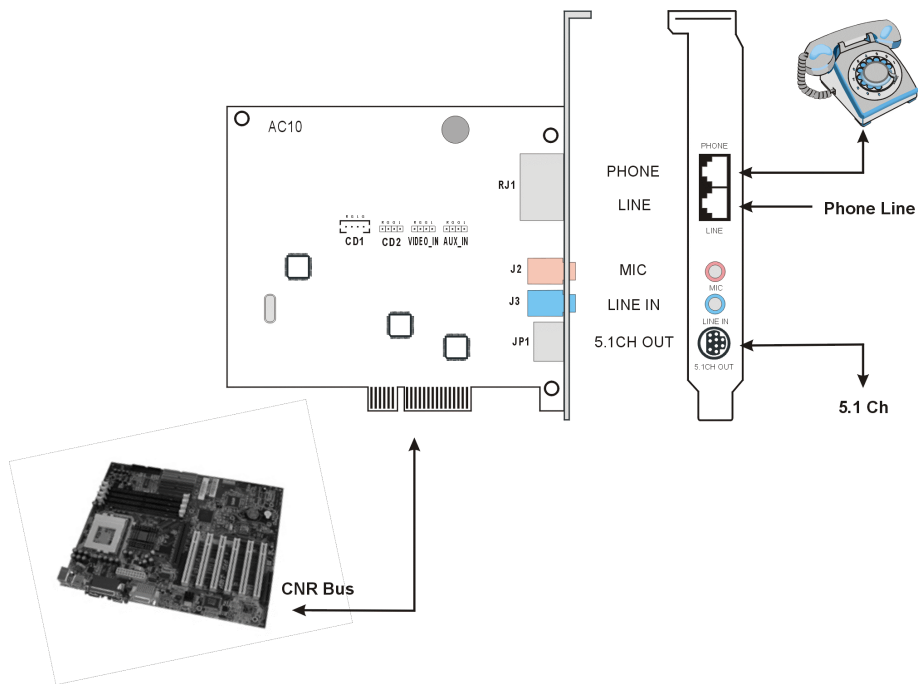


図 2-1. AC10 CNR カードレイアウト図.

2-2. コネクタおよびヘッダ

- **PHONE (RJ1):** 電話セットに接続。
- **LINE (RJ1):** 電話の壁コンセントに接続。
- **MIC (J2):** 外部マイクに接続。
- **LINE IN (J3):** 外部オーディオソースに接続。
- **5.1CH OUT (JP1):** 6 スピーカーオーディオシステムに接続 (G9 6-チャンネルケーブル付き)。
- **CD1, CD2, VIDEO_IN, AUX_IN:** 内部 CD-ROM またはその他のオーディオソースに接続。

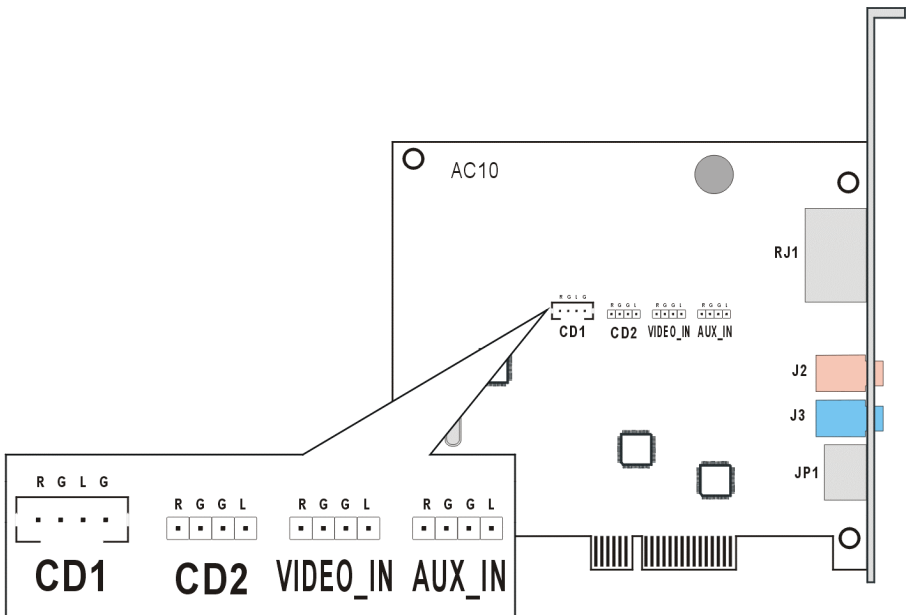


図 2-2. CD1 ~ AUX_IN ヘッダのピン定義。

2-3. カードの取り付け

ステップ 1. PC とそれに接続されているすべての外部周辺装置(例えば、プリンタなど)の電源をオフにしてから、PC システムのカバーを外します。

ステップ 2. CNR 拡張スロットをマザーボードに配置します。AC10 は CNR スロットにしか差し込めません。選択した CNR に対応する金属ブラケットを取り外してください。ネジをなくさないでください。

ステップ 3. AC10 コネクタの側面を下に向けて CNR スロットの位置に合わせてください。カードの端をつかんで、AC10 のコンポーネントに力を加えたりしたりせずに、カードをスロットに差し込みます。CNR スロットにしっかりそして完全に差し込まれているかどうか確認してください。

ステップ 4. AC10 を CNR スロットに固定します。Secure AC10 to CNR slot. CNR カードの取り付けブラケットのノッチを、コンピュータのケースの裏面パネルのネジ穴の位置に合わせてください。金属ブラケットから取り外したネジを使用して、CNR カードを所定の位置にしっかり固定してください。

ステップ 5. システムカバーを元に戻してください。PC システムを起動する準備ができました。

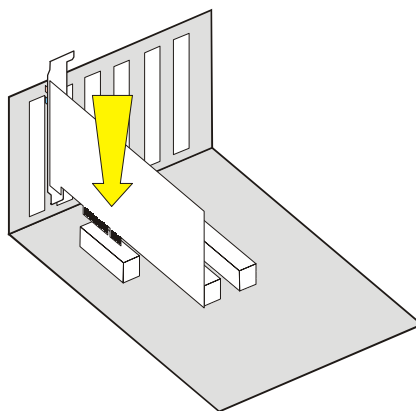


図 2-3. AC10 を CNR 拡張スロットに取り付ける。

注意

この CNR カードを取り替える前に、スイッチング電源装置から電源を切断しておくことを推奨します。切断しておかないと、再起動した後にシステムがこのハードウェアを検出できないことがあります。この環境下では BIOS を書き換える必要があります。

2-4. 電話線をモデムに接続する

- ステップ 1.** 付属の電話コードの一方の端を、“LINE”と表示されているモデムの裏のソケットに差し込みます。
- ステップ 2.** コードのもう一方の端を電話の壁コンセントに差し込みます。
- ステップ 3.** モデムと同じ回線上で自分の電話セットを使用したい場合、電話コードをモデムの裏の“PHONE”と表示されているコンセントに差し込んでください。

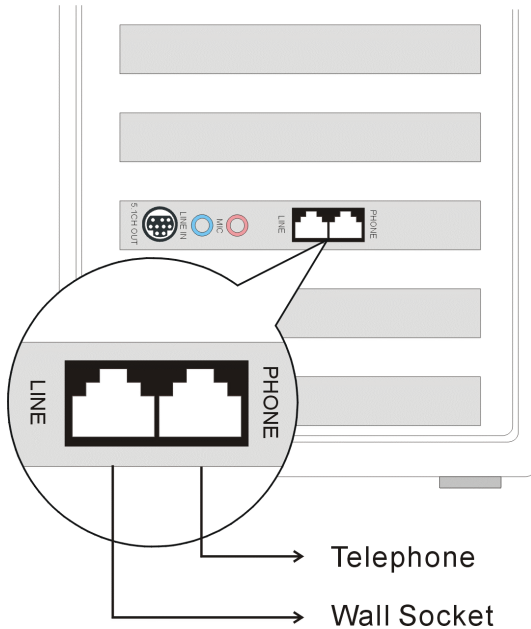


図 2-4. 電話の壁コンセントから LINE 入力に接続してから、PHONE 出力をお使いの電話セットに接続します。(Telephone=電話、Wall Socket=壁コンセント)

第3章 ドライバのインストール

3-1. モデムドライバをインストールする



1. “PCI Card”(または、マザーボードによっては**PCI 通信デバイス**)というメッセージが表示されたら、AC10 CD-タイトルを挿入し、[次へ>]をクリックして、ドライバを検索します。



3. [場所の指定]を選択したら、“E:\Modem\SmartLink\Win9x” (E は CD-ROM ドライブの番号です)と入力するか、[参照]を使用して、ドライバを検索します。[次へ>]をクリックして操作を続けます。



2. [デバイスに最適のドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ>]をクリックして操作を続けます。



4. Windows が“HAMR56, SmartRiser56 音声モデム”に対応するドライバを検出したら、[次へ>]をクリックしてインストールを開始します。

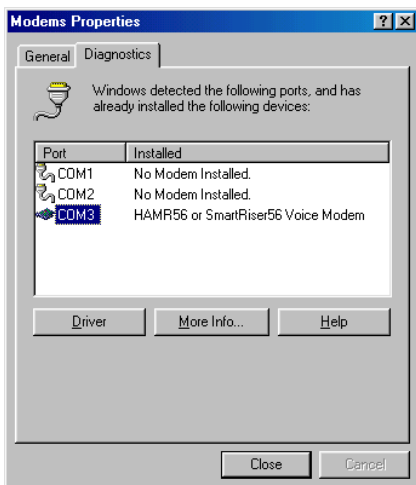


5. WindowsはこのCNRカードに対応するソフトウェアのインストールを完了しました。**[終了]**をクリックして、システムを再起動します。

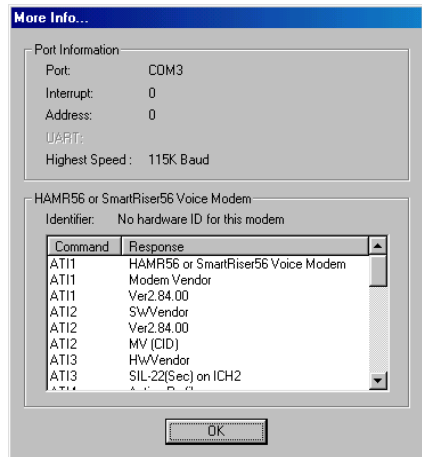
3-2. Windows 9x に対する診断



1. カーソルを[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]に順にポイントして、[コントロール パネル]をクリックします。それから、[モデム]アイコンをダブルクリックします。



2. [診断]タブをクリックします。モデムが設定される“COM Port”を選択します。[詳細]ボタンを押して、テストを開始します。



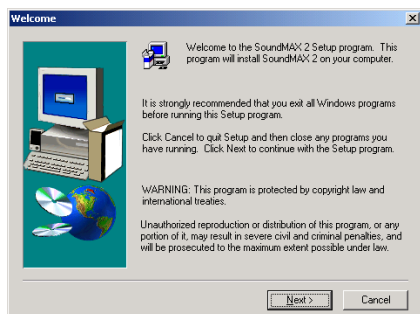
3. モデムがATコマンドに応答して正しく機能していれば、モデムは適切に動作しています。[OK]を押して、モデムの診断を終了してください。

3-3. 5.1 チャンネルのオーディオドライバをインストールする

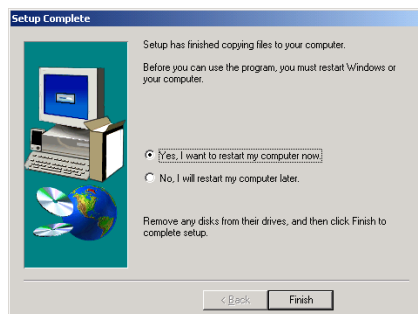
AC10 CD-タイトルを CD-ROM ドライブに挿入すると、プログラムが自動的に実行されます。実行しない場合、この CD-タイトルの主ディレクトリで実行ファイルを実行します。実行後、ドライバインストールのページを入力すると、インストールウィザードが表示されます。

注意

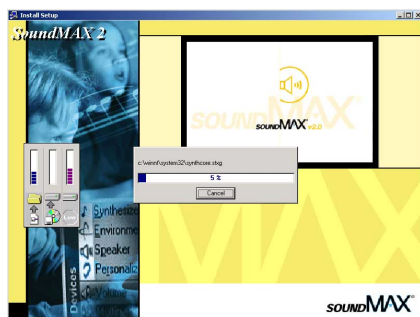
5.1 チャンネルのオーディオ出力の効果を得るには、まず DirectX の最新バージョンをインストールしてください。



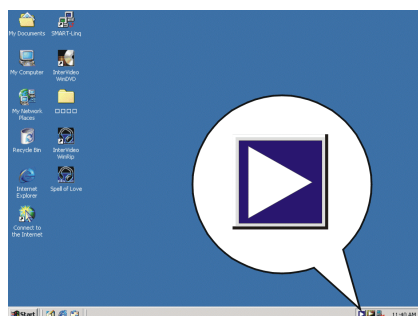
1. ようこそ、の画面が表示されます。[次へ>]をクリックして、操作を続けます。



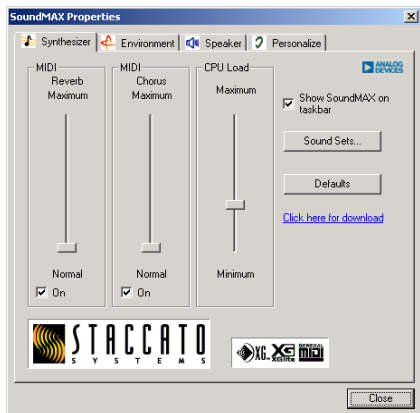
3. Windows はオーディオドライバのインストールを完了しました。[はい、今コンピュータを再起動します]を選択して、[終了]をクリックします。



2. Windows は、SoundMAX に対応するドライバをインストールしています。



4. システムが再起動すると、タスクバーの右下に SoundMAX アイコンが作成されます。



5. タスクバーで **SoundMAX** アイコンをダブルクリックすると、**SoundMAX** プロパティが呼び出され、サウンドエフェクトをセットアップします。

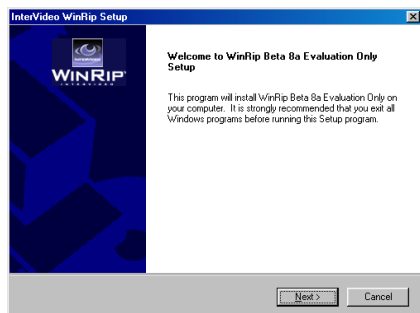


第 4 章 InterVideo WinRip™ のソフトウェアアプリケーション

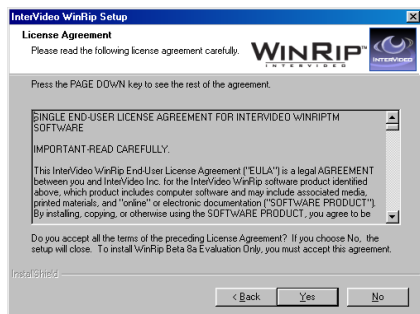
WinRip は InterVideo が開発したアプリケーションソフトウェアで、MP3、MP2、WAVE、MIDI、および ABIT の 5.1 チャンネル再生デバイス用のオーディオ CD 形式など、現在利用できる全てのオーディオ形式に対して、完全なオーディオ再生と録音環境を提供します。WinRip によって、これらの形式を自由に交換したり変換することができます。

AC10 CD-タイトルを CD-ROM ドライブに挿入すると、プログラムが自動的に実行します。実行しない場合、この CD-タイトルの主ディレクトリで実行ファイルを実行してください。実行後、ドライバインストールのページを入力すると、インストールウィザードが表示されます。

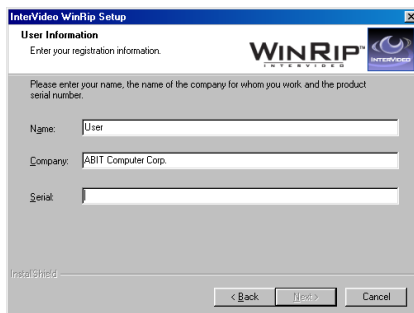
4-1. WinRip のインストール



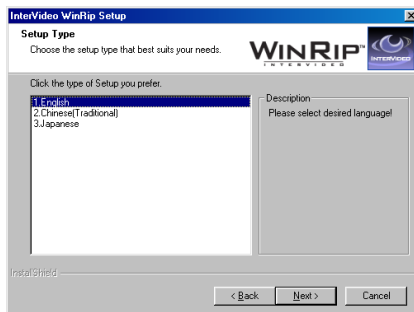
1. ようこそ画面が表示されます。[次へ>]をクリックして、操作を続けます。



2. ライセンス契約書を読み、[はい]をクリックして操作を続けてください。



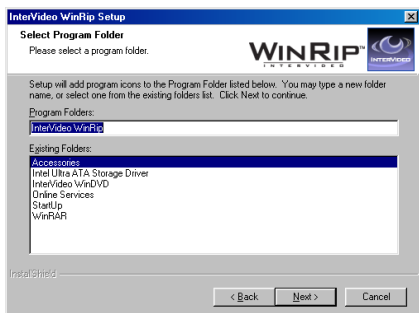
3. 名前を、会社名、このソフトウェアのシリアル番号入力します。[次へ>]を押して操作を続けます。



4. 希望するセットアップ言語を選択します。[次へ>]を押して操作を続けます。



5. [参照]ボタンを入力して希望する国/地域を選択するか、[次へ>]を押して操作を続けます。



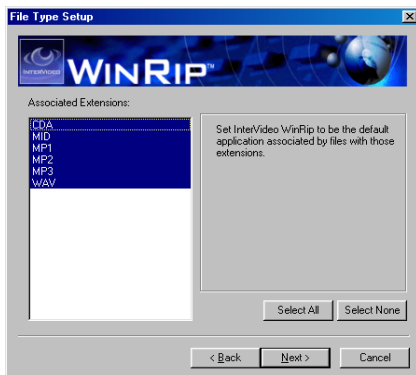
6. 希望するフォルダ名を入力するか、[次へ>]を押して操作を続けます。



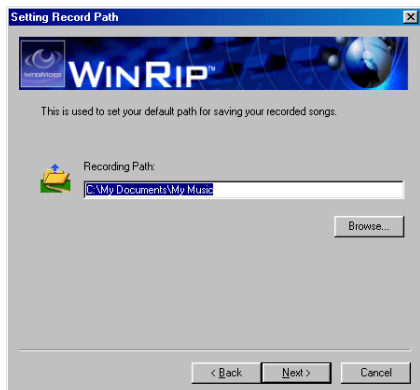
7. [スタート]をクリックして、操作を続けます。



8. 自分自身の登録情報を入力し、[次へ>]を押して操作を続けます。または、[キャンセル]ボタンを押して、後で登録することにしてこの手順をスキップし、直接手順 14 にジャンプしてインストールを完了することもできます。



9. WinRip に関連する拡張子名を選択し、[次へ>]をクリックして操作を続けます。



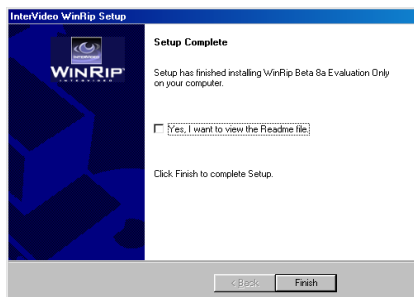
10. 録音した曲の録音パスを入力するか、**[次へ>]**をクリックして初期値のパスで操作を続けることもできます。



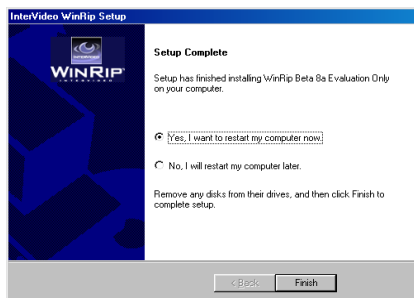
11. 録音のタイプをチェックします。128(初期値)、160、192、224、256、320 kbps のオプションから選択することができます。**[次へ>]**をクリックして操作を続けます。



12. **[終了]**をクリックして、インストールを終了します。

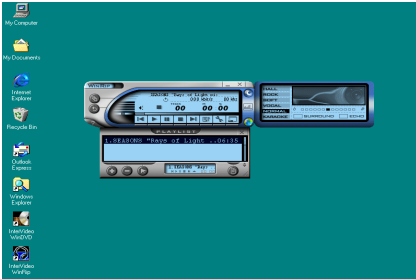


13. Windows は WinRip のインストールを完了しました。Readme ファイルを表示したい場合にはチェックボックスをマークします。または、**[終了]**をクリックして操作を続けます。

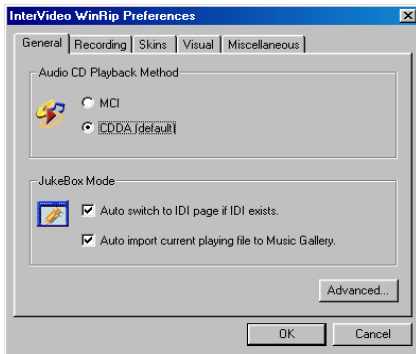


14. **[はい、今コンピュータを再起動します]**のチェックボックスをマークして、**[終了]**をクリックし、セットアップを完了します。

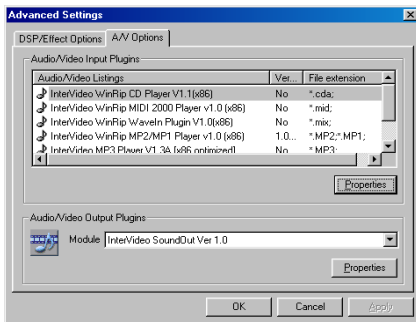
4-2. WinRip の構成



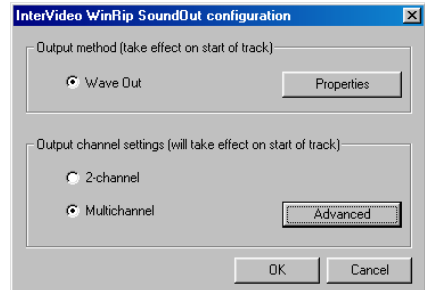
1. デスクトップの **WipRip** アイコンをダブルクリックします。



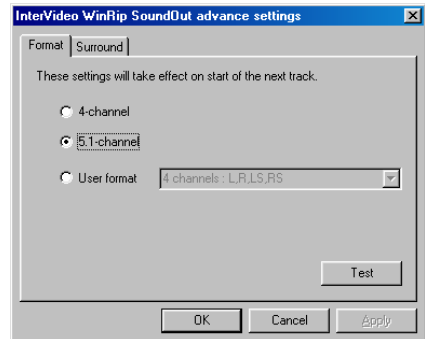
2. **[拡張]** ボタンをクリックして操作を続けます。



3. **[A/V オプション]** タブを選択し、**[オーディオ/ビデオ出力プラグイン]** の **[プロパティ]** ボタンをクリックして操作を続けます。



4. **[マルチチャンネル]** のチェックボックスをマークして、**[拡張]** ボタンをクリックします。



5. **5.1-チャンネル** を選択して、**[OK]** ボタンをクリックします。

次の3つの画面で**[OK]** ボタンをさらに3回クリックしなければなりません。これは、手順4から手順2に戻るのと同じ手順です。

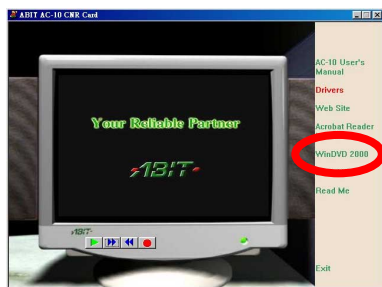
出力チャンネル設定は、次のトラックを開始すると直ちに有効になります。

第5章 InterVideo WinDVD™ 2000 ソフトウェアアプリケーション

5-1. WinDVD™ 2000 ドライバをインストールする

注意

5.1 チャンネルオーディオ出力を得るためには、まず DirectX の最新バージョンをインストールしてください。



DVD-ROM をお使いの場合、コンピュータに DVD プレーヤー用のこのソフトウェアをインストールすることができます。AC10 CD-タイトルを DVD-ROM ドライブに挿入すると、プログラムが自動的に実行されます。実行されない場合、CD-タイトルの主ディレクトリで実行ファイルを実行してください。実行後、入力すると、下の画面が表示されます。

カーソルを“WinDVD 2000”に移動し、それをクリックします。これで、コンピュータに InterVideo WinDVD ソフトウェアのインストールが開始します。

注: インストール手順の残りについては、オンスクリーンの指示に従ってください。



インストールが完了したら、プログラムはコンピュータを再起動するように求めます。コンピュータを再起動して、[スタート]→[プログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]を順番にポイントするか、デスクトップの WinDVD アイコンをダブルクリックして、このプログラムを起動します。すると、左のような画面が表示されます。



左に示すような DVD プレーヤーコントロールパネルを使用して、DVD ムービーを再生することもできます。

この操作に関する詳細については、InterVideo WinDVD プログラムグループのヘルプファイルを参照してください。

注意

WinDVD2000 on Windows® 2000 は現在、ステレオモード出力でしか提供されていません。ソフトウェアの更新については、InterVideo (www.intervideo.com) に連絡してください。

5-2. リモートコントロールキット(オプション)**リモートコントロールキット**

レーザーケーブル



リモートコントローラ

このオプションの IR リモートコントロールキットは、WinDVD2000 ソフトウェアで DVD/VCD ムービーを見ているとき、キーボードとマウスの代わりになるものです。

(Remote Control Kit=リモートコントロールキット / Receiver Cable=レーザーケーブル/リモートコントローラー)

このリモートコントロールキットは、WinDVD 再生機能をコントロールするだけでなく、Microsoft® PowerPoint™ プレゼンテーションソフトウェア用のポインティングデバイスとしても使用できます。

インストール手順:

- ステップ 1.** マザーボードの PS/2 ポートからキーボードを取り外します。
- ステップ 2.** レザーケーブルの一方の端を、マザーボードの PS/2 キーボードポートに接続します。
- ステップ 3.** PS/2 キーボードコネクタをレーザーケーブルのもう一方の端に接続します。
- ステップ 4.** IR レザーを自分に面したもっとも手の届きやすい場所に置きます。IR 伝送を遮るような物体を間に置かないようにしてください。

注意

IR リモートコントロールキットは、ABIT のマルチメディアシステムにバンドルされている WinDVD2000 ソフトウェアのバージョンでしか作動しません。

5-3. リモートコントローラ(オプション)

- **On/Off:** 電源のオン/オフ
- **Eject:** ドライブからディスクを取り出します
- **Screen:** 表示画面のサイズを選択します。
- **Title:** サブメニューを開くと、現在再生されている DVD ディスクのすべての利用できるタイトルを表示したり、新しいタイトルを選択して再生することができます。
- **Subtitle:** サブタイトルメニューを表示します。複数の言語のサブタイトルが利用できる場合、このメニューを使用して選択してください。
- **Audio:** オーディオトラックオプションを表示します。複数のオーディオトラックや言語が利用できる場合、このメニューを使用して選択してください。
- **Mute:** 現在再生されているディスクの音声をオフにします。
- **Chap Menu:** 字幕メニューを表示します。
- **Angle:** 利用できるとき、アングルを選択するとオプションのアングルからリストを表示することができます。
- **Volume:** オーディオ出力を増加または減少します。
- **Brightness:** ビデオ出力の明るさを増加または減少します。
- **Menu:** メニューの選択を表示します。
- **Up/Down/Right/Left:** マウスボタンやタブキーと同じように、方向ボタンを使用します
- **Enter/Play:** Enter/Play は現在のタイトルを再生し、一時停止の後再生を再開します
- **ESC:** メニュー選択を強制終了します
- **Fast Forward:** 早送りモードでディスクを再生します
- **Stop:** 現在の再生を停止します
- **Pause:** 現在の再生を一時停止します
- **Fast Backward:** 高速の巻き戻しモードでディスクを再生します
- **Previous Chapter:** 前のチャプタにジャンプします
- **Next Chapter:** 次のチャプタにジャンプします
- **Chapter:** サブメニューを開き、現在再生されているチャプタを表示します。このメニューから他のチャプタを選択することができます。



- **Numeric Keypad:** 数値キーボードでは、数字を選択する方法が提供されています。これは、DVD ディスクよりも Video CD を再生しているときによく使用されます。数値を入力するときはいつでも、数値キーボードで対応するキーをクリックしてから Enter ボタンを押すと、その数字が受け付けられます。

付録 A. 技術サポートの受け方

(Web サイトから) <http://www.abit.com.tw>

(北米) <http://www.abit-usa.com>

(ヨーロッパ) <http://www.abit.nl>

ABIT 製品をお選びいただきありがとうございます。ABIT は流通業者、再販業者、およびシステム統合者を通して全ての製品を販売しており、エンドユーザーへの直接の販売はいたしておりません。技術サポートを受けるために電子メールを出す前に、何らかのアフターサービスが必要かどうかが、再販業者かシステム統合者でチェックしてください。彼らはお客様にシステムを販売した当事者ですから、何ができるかを、どのようにアフターサービスを提供すれば将来の購入につながるかを最もよく知っているはずです。

当社は全ての顧客に対して感謝の念を持ち、最高のアフターサービスを提供したいと思っています。顧客に迅速なアフターサービスを提供することが、最優先権を持っています。しかし、当社には全世界から多くの電話や膨大な数の電子メールが送られてきます。現在、1つ1つの問い合わせに対応することは不可能です。したがって、お客様が電子メールを送られても返事を受け取っていないことは大いにありうることです。

当社は多くの互換性テストと信頼性テストを行って、自社製品が最高の品質と互換性を備えていることを確認しています。アフターサービスや技術サポートが必要になった場合、どうか当社の抱えている事情を察して、**最初に製品を購入した再販業者にお問い合わせください。**

アフターサービスを迅速に処理するため、当社に連絡する前に、以下に概略する手順に従うことをお勧めします。お客さまのご理解により、**最大多数の ABIT の顧客に対して最高のアフターサービスを提供できることをここに言明いたします。**

- 1. マニュアルをチェックする。**これは簡単に聞こえますが、当社は十分な注意を払ってよく書かれた詳細なマニュアルを作成しました。これには情報が満載されており、マザーボード以外の情報も載っています。マザーボードに付属する CD-ROM には、ドライバだけでなくマニュアルも含まれています。どちらもお持ち出ない場合は、当社の Web サイトのプログラムダウンロード領域、または<http://www.abit.com.tw/download/index.htm> で FTP サーバーにアクセスしてください。
- 2. 最新の BIOS、ソフトウェア、またはドライバをダウンロードしてください。**当社の Web サイトのプログラムダウンロード領域にアクセスして、最新の BISO を使用していることをチェックしてください。これらはバグや非互換性を調整するために長い期間の間に開発されたものです。また、周辺機器のカードメーカーの最新のドライバを使用していることも確認してください!
- 3. 当社の Web サイトで、ABIT 技術用語ガイドと FAQ をチェックしてください。**当社は FAQ をさらに展開して、使いやすく豊富な情報の宝庫にするつもりです。どうぞ、ご意見をお寄せください。最新情報については、当社の HOT FAQ をチェックしてください。

4. **インターネットニュースグループ**. これは情報の大供給源で、ここで多くの人々がヘルプを提供しています。ABIT のインターネットニュースグループ、[alt.comp.periphs.mainboard.abit](http://alt.comp.periphs.mainboard.abit.com.comp.periphs.mainboard.abit) は、ユーザーが ABIT 製品に関する情報を交換したり、さまざまな経験を話し合うための理想的なフォーラムです。以前、自分が出した質問がまた載せられているのを目にしたことは、一度ならずあるはずで、これは公共のインターネットニュースグループで、だれでも自由な討議を行うことができます。以下に、ABIT の一般的なニュースグループのリストを一部、紹介します。

alt.comp.periphs.mainboard.abit

comp.sys.ibm.pc.hardware.chips

alt.comp.hardware.overclocking

alt.comp.hardware.homebuilt

alt.comp.hardware.pc-homebuilt

5. **再販業者に問い合わせる**. ABIT から認証された流通業者は、お客さまの問題に素早いソリューションを提供できる必要があります。当社は流通業者を通して製品を販売し、流通業者が再販業者や一般商店に販売します。ですから、再販業者はお客さまのシステム構成に熟知しており、当社よりもずっと効果的にお客さまの問題を解決できるはずで、結局のところ、再販業者はお客さまを今後も当社製品を購入し、友人に購入を勧めてくれる重要な顧客とみなしています。彼らがお客さまのためにシステムを統合し販売したのです。ですから、お客さまのシステム構成とその問題を一番知っているのは彼らなのです。彼らこそ返金および返品ポリシーの責任者といえます。彼らからアフターサービスを受けると、次回の購入に際してもよいアドバイスを受けられるはずで、
6. **ABIT に連絡する**. ABIT に直接連絡する必要がある場合、ABIT の技術サポート部に電子メールをお送りください。まず、お客さまの最寄の支社のサポートチームに連絡してください。彼らは地元の状況と問題に精通しており、どの再販業者がどの製品とサービスを提供したかについて私たち以上の洞察力を持っているはずで、毎日膨大な数の電子メールが配信されるといったり、問題を再現するために要求される時間などの、他の理由もありますが、当社では全ての電子メールに返事を出すことはできません。どうぞ、当社が流通チャンネルを通して販売を行っており、すべてのエンドユーザーに対するリソースを持っているわけではないことをご理解ください。また、当社の技術サポートチームの大半にとって、英語が第二言語であるということも心に留めてください。お客さまの質問がすぐに理解されれば、役に立つ回答を得られる機会がそれだけ多くなります。問題を説明するときは、必ず単純で、簡単な表現を用い、まとまりがなく、美辞麗句にとんだ表現はできるだけ避けるように心がけてください。また、システムコンポーネントは常に手元から離さないようにしてください。以下に、当社の支社に連絡する方法を紹介します。

北米と南米の場合は以下に連絡してください:

ABIT Computer (USA) Corporation

46808 Lakeview Blvd.

Fremont, California 94538 U.S.A.

sales@abit-usa.com

technical@abit-usa.com

Tel: 1-510-623-0500

Fax: 1-510-623-1092

英国とアイルランドの場合:

ABIT Computer Corporation Ltd.

Unit 3, 24-26 Boulton Road

Stevenage, Herts SG1 4QX, UK

abituksales@compuserve.com

abituktech@compuserve.com

Tel: 44-1438-228888

Fax: 44-1438-226333

ドイツとベルネックス三国(ベルギー、オランダ、ルクセンブルク):

AMOR Computer B.V. (ABIT's European Office)

Van Coehoornstraat 7,

5916 PH Venlo, The Netherlands

sales@abit.nl

technical@abit.nl

Tel: 31-77-3204428

Fax: 31-77-3204420

上記以外の国の場合は、全て以下に連絡してください:

台湾本社

本社に連絡するときは、所在地が台湾で、8+ GMT であることにご注意ください。さらに、休日がお客さまの国とは異なる場合もあります。

ABIT Computer Corporation

3F-7, No. 79, Sec. 1, Hsin Tai Wu Rd.

Hsi Chi, Taipei Hsien, Taiwan

sales@abit.com.tw


market@abit.com.tw

technical@abit.com.tw

Tel: 886-2-2698-1888


Fax: 886-2-2698-1811


7. **RMA サービス.** 新しいハードウェアやソフトウェアを最近インストールしていないのに、お使いのシステムが実行中に停止する場合、コンポーネントに欠陥があることが考えられます。当該製品を購入した再販業者に問い合わせてください。RMA サービスを受けることができます。
8. **ABIT に互換性の問題を報告する.** 当社では、毎日おびただしい数の電子メールを受け取っているため、何よりもあるタイプのメッセージに重点を置かざるを得なくなりました。この理由で、当社に報告される互換性の問題は、詳細なシステム構成情報とエラー症状を与えることにより、最高の優先順位を受け取ります。その他の質問に対しては、直接お答えできないことを申し訳なく思います。しかし、お客さまの質問はインターネットニュースグループで順番に配置されるため、大多数のユーザーがその情報を恩恵を受けることができます。折りに触れ、ニュースグループをチェックしてください。
9. **技術サポート書式**に必要事項を記入する：お客様が何かの問題に遭遇し、当社の技術スタッフから支援を得る必要がある場合、技術サポート書式に必要事項を記入して、お買い上げの販売店か、当社の技術サポートメールボックスに送信してください。メールボックスのアドレスはtechnical@abit.com.twです。可及的速やかにお客さまの問題を解決するように努力いたします。また、遭遇した問題も詳細に記述してください。それにより、当社の技術者がお客さまの問題をより速やかに分析することができます。技術サポート書式のアステリスク“*”でマークされたアイテムの情報が、要求されます。


 技術サポート書式

 会社名:

 電話番号:

 担当者:

 ファックス番号:

 電子メールアドレス:

製品名	*	製品ソフトウェアとドライバのバージョン	*
マザボードのメーカー、モデル名とチップセットのタイプ			
オペレーティングシステムのタイプ	*		
ハードウェア名		種類	仕様
CPUの種類と速度	*		
HDD	<input type="checkbox"/> IDE1 <input type="checkbox"/> IDE2		
CD-ROM-ドライブ	<input type="checkbox"/> IDE1 <input type="checkbox"/> IDE2		
システムメモリのサイズ (SDRAM)			
アドオンカード			

問題の詳細:



ありがとうございます、ABIT Computer Corporation

<http://www.abit.com.tw>